

市民総参加の未来づくり

小千谷市について

小千谷市は、新潟県のほぼ中央に位置し、日本一の大河・信濃川が市域を東西に二分する河岸段丘のまちです。市内にある山本山から見える雲海や蛇行する信濃川のすばらしい眺望と四季折々の自然豊かな市です。



図書館等複合施設「ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」

令和6年に市制施行70周年、そして、本市に未曾有の被害をもたらした中越大地震から20年を迎えました。また、昨年9月には、念願であった図書館等複合施設「ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」

を中心市街地にオープンすることができました。ホントカ。の向かい側には、コワーキングスペースを備えた「テレワークステーションおぢや」があり、この二つの施設を拠点として、空き店舗を活用したチャレンジショップの設置などを進め、中心市街地の活性化を図っています。

重点政策プロジェクト・チーム「チームO・J・Y」結成

令和5年5月に、本市が抱える人口減少や産業の活性化、まちの魅力再生など重要課題に対しスピード感を持って対応するため、「小千谷」の頭文字をとった組織横断型のプロジェクト・チーム「チームO・J・Y」を結成し、課題解決に向けた研究と実践に取り組んでいます。

- 1 U・イターナー者の増加と女性活躍サポートに取り組む「チームO」。ふるさとを離れて暮らす学生に小千谷産品を送って応援する「おぢやつみ WITH WISH」や、女性活躍推進をテーマにした「異業種交流会」などを実施し、官民一体となって課題解決に取り組んでいます。
- 2 国魚錦鯉を切り口にした地場産業の振興に取り組む「チームJ」。クール・ジャパン EXPO in NIGATA への出展や、「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録決定を祝した錦鯉の寄贈など、錦鯉を切り口にした観光振興を図っています。
- 3 中心市街地の活性化、山本山の魅力再生に取り組む「チームY」。放課後の中高生の居場所を開設したほか、山本山山頂約2.5ha

に市民のみなさんとともにひまわりを咲かせた「天空のひまわり畑」イベントを開催しました。

起業家育成支援事業
「BALLOON(バルーン)」スタート!

ホントカ。向かいのテレワークステーションおぢやを拠点に、市内で起業したい方を創業前から伴走支援する起業家育成支援事業「BALLOON」をスタートさせました。本年1月にはビジネスコンテストを初開催し、8名の方から応募いただきました。採択された方には起業などに必要な費用を補助するとともに、経験豊富なメンターがビジネスプランのブラッシュアップを一緒に進めていきます。まだ始まったばかりのBALLOONですが、本気で挑戦する方を応援し、「誰もが挑戦できるまち」を創っていききたいと思っています。

まちづくりプロジェクト 「みんなの一步で、未来 づくり大作戦」本格始動！

市長就任当初より「市民総参加」を掲げて市政に取り組んできました。市制施行70周年、中越大地震から20年の節目の年を「Re... START」と捉え、10年後、20年後、さらにその先の未来を見据え、新たなまちづくりプロジェクト「みんなの一步で、未来づくり大作戦」を開始しました。山本山に咲き誇った「天空のひまわり畑」、能登半島地震の復興を応援する「オヂヤホタル」の希望の明かりなど、市民と行政が共に力を合わせ、小千谷は未来に向かって変わり始めて



天空のひまわり畑



オヂヤホタル

で子育てをされているパパやママに「小千谷に来て子育てをしませんか」と声をかけていただく作戦です。日本一の子育て応援のまちを目指した、妊産婦医療費や子ども医療費の無償化、ワンコインで利用できる病児病後児保育室、保護者の

います。「未来を創るために今を変えよう」と、市民が主役となって取り組むプロジェクトが「みんなの一步で、未来づくり大作戦」です。最初の作戦は二つありますが、一つ目は「『小千谷に帰っておいでよ！』声かけ作戦2025」。市外や県外で暮らすお子さんなどに、学校卒業や結婚など、どのタイミングでもいい。「いつか小千谷に帰っておいでよ」と市民のみなさんから声をかけていただく作戦です。帰ってくる方には移住支援金やアパートの家賃補助、奨学金返還支援など手厚いU・イターン政策を用意しています。二つ目は「『子育てするならダンゼン小千谷！』声かけ作戦2025」。市外

みなさんへ応援ギフトを送る「おぢやつみ〜 Smile&Family〜」などで保護者とお子さんに寄り添い、伴走型支援で全力サポートします。市民から募集した「未来づくりアンバサダー」を中心に、一緒に声かけ作戦を展開していきます。一人の100歩より、100人の一步で、市民とともにワクワクするような未来のまちづくりに全力で取り組んでいきます。

プロフィール

- ◆ 面積 155・19 km²
- ◆ 人口 3万2593人
- ◆ 世帯数 1万3014世帯

〔将来都市像〕 ひと・技・自然を暮らし実感 地域の宝が輝くまちおぢや

〔まちの特徴〕 新潟県の中央に位置し、大河信濃川が市を東西に二分する河岸段丘の多い自然豊かな都市

〔特産品〕 小千谷縮、へぎそば、魚沼



小千谷市長
宮崎悦男



産こしひかり、泳ぐ宝石錦鯉、地酒、米菓
〔観光〕 山本山、ひと・まち・文化共創拠点ホントカ、総合産業会館サンプラザ、錦鯉の里
〔イベント〕 からくり万灯のおぢやまつり、熱気球のおぢや風船一揆、国指定の重要無形民俗文化財の牛の角突き、世界一の四尺玉花火の片貝まつり



みんなの一步で、未来づくり大作戦 ロゴマーク

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

す。また、本市出身の橋本邦助、清水登之、田中一村など、優れた多くの芸術家を輩出しています。

空き家を活用した 移住・定住の促進

本市は高齢者世帯の持ち家率が非常に高いため、少子高齢化に伴う空き家の増加が課題となっております。そこで平成25年度に空き家バンクの運用を始め、令和3年度からは農地付き空き家も取り扱いは開始し、合わせて常時100件以上の物件を公開しています。

令和6年12月末現在の成約件数は659件あり、そのうち298



高い人気の農地付き空き家

件は市外の方ですので、空き家の有効活用、移住定住の促進に成果を上げております。

農地付き空き家は問い合わせも多く、登録後早い段階で成約に至るなど好評を得ています。引き続き、農業委員会と連携し、農地付き空き家の登録増加につながるような取り組みを進め、空き家の発生抑制と定住促進にさらに努めてまいります。

データセンターの誘致

本市の産業においては製造業を中心とする第2次産業が非常に盛んな地域であり、若い世代の雇用の創出ならびに地域経済の発展のため、産業団地の整備および企業誘致を積極的に行っています。

これまで、地理的優位性を生かす物流、製造業のための産業団地の整備を進めておりましたが、令和3年6月に政府が発表した「半導体・デジタル産業戦略」をうけ、最先端のデジタル産業分野の企業も誘致できる新たなスタイルの産業団地について、国、県の協力を得ながら整備を進めることといたしました。それに併せて、私自ら企業誘致におけるトップセールス

を行うとともに、「栃木市東京サテライトオフィス」を開設し、多くの企業にPRしてきました。その結果、令和6年9月に分譲を行った栃木インテック産業団地には、国内大手のデータセンター事業者である「NTTグループ データセンター株式会社」が立地することとなりました。これを契機に、栃木市の持つ魅

力のさらなるアピール、自主財源の確保による持続可能なまちづくり、関連企業の進出などの経済発展につなげてまいります。今後も古い街並みや豊かな自然と文化を守り生かすとともに、最先端のデジタル産業に関する企業誘致を進め、魅力的で住みよい栃木市づくりに取り組んでまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 331.50km²
- ◆ 人口 15万3088人
- ◆ 世帯数 6万7813世帯

〔将来都市像〕豊かな自然と共生し、優しさと強さが調和した、活力あふれる栃木市

〔まちの特徴〕歴史と文化、豊かな自然と便利な住環境が調和しており「住みたい田舎ベストランキング」でも高い評価を受けています

〔市町村合併〕平成22年3月29日、栃木市・大平町・藤岡町・都賀町の1市



栃木市長
大川秀子



3町が合併、平成23年10月1日、西方町と合併、平成26年4月5日、岩舟町が合併

〔特産品〕米、ビール麦、イチゴ、ブドウ、じゃがいも入り焼きそば、肉牛、酒類、家電

〔観光〕蔵の街並み、栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区、太平山県立自然公園、みかも山公園

〔イベント〕太平山桜まつり、なつこい、とちぎ秋まつり、ど田舎にしかた祭り、渡良瀬バルーンレース

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「快適実感都市」たつのが 市民が主役の市政運営と子育て応援

先人が育んだ歴史と文化 脈々と受け継がれる 地場産業

夕焼け小焼けのあかとんぼ 童謡「赤とんぼ」の作詞者・三木露風の生誕地であるたつの市は「播磨の小京都」と称され、国指定の重要な伝統的建造物群保存地区や新宮宮内遺跡、日本遺産（荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間〜北前船寄港地・船主集落）の構成文化財である室津の町並みなど、歴史的な趣と文化的な魅力を併せ持つ都市です。川の清流・揖保川の清流・揖保川



桜満開の龍野城

の恵みにより古くから地場産業が発展、色を付けずに素材を生かす「淡口醤油」、全国で愛される夏の風物詩「手延素麺 揖保乃糸」、使えば使うほど馴染む「成牛革」の生産量は日本一を誇ります。

の恵みにより古くから地場産業が発展、色を付けずに素材を生かす「淡口醤油」、全国で愛される夏の風物詩「手延素麺 揖保乃糸」、使えば使うほど馴染む「成牛革」の生産量は日本一を誇ります。

快適を実感できる都市

平成17年10月の合併時から人口は12%減少し、高齢化率は32%（令和6年3月末時点）まで上昇している本市では、前述の揖保川に沿って市域を南北につなぐ幹線交通としてコミュニティバスを運行、加えて鉄道駅やバス停などの交通結節点までの支線交通として住民乗り合いタクシーを運行し、高齢者などの交通弱者を含めた市民誰もが、通勤・通学・通院・買い物など日々の暮らしの中で、自由に移動できる公共交通サービスを提供

供しています。

また、人口減少・少子高齢化社会であっても持続可能で魅力あふれるまちづくりを推進するため、市民や各種団体と協働しながら、中心市街地であるJR姫新線本竜野駅周辺整備や山陽自動車道龍野IC周辺における区画整理など、新たなにぎわいの創出と地域経済の



幹線交通のコミュニティバス



日本遺産構成文化財の室津

活性化に直結する重点プロジェクトを推し進めています。

さらに、昨年度に開設した書かない窓口や、自宅や職場から容易にアクセス可能な電子申請の拡充など、たつの市版DXの取り組みを加速し、誰もがデジタルの恩恵を受けられるスマート自治体の実現や、次代を担う子どもたちの健康やかな成長のため手厚い子育て支援策など、市民一人一人が多様な幸せを感じられるまちづくりに取り組むことで、「みんなで創る快適実感都市」の実現を目指しています。

給食・医療費無償、まごころ便…「子育てするならたつの市」

喫緊の課題である少子化対策については、妊娠期から子育て期まで切れ目なく子育て世帯を支援するため、令和6年4月に「こども家庭センターすくすく」と「こども家庭センターはつらつ」を新設し、保健師や家庭児童相談員など専門的な職員を配置することで子育てに係る幅広い相談に対応しています。

従前から、高校3年生までの医療費無料化、中学生の給食費無償化、複数のメディアで紹介された小学生へのランドセル用冷却背当てパッドの配布、妊婦教室「プレママサロン」など多彩な支援の中でもとりわけ好評なのが、出産を祝い紙おむつや離乳食など希望される必需品を個配する「はつらつベビーまごころ便」。この事業は、祝品の配達を通して、子育て経験のある配達員が赤



はつらつベビーまごころ便

ちゃんとして保護者に顔を合わせることで、子育て相談の機会を創出する事業です。

令和6年度からは、健診や予防接種のスケジュール管理、子育て情報の配信、妊婦検診や子どもの成長が記録できる子育て応援アプリ「たつのこナビ」の運用を開始するとともに、県内産木材を使った新生児向けの木育ベビーギフトの贈呈など、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいます。

さらに、学びの環境整備も進めており、より望ましい規模で学習が受けられる「たつの市新宮地域小中一貫校」を令和10年4月の開校に向け準備を進めています。同校の建設に当たっては、地域との連携・交流によって子どもたちの「学び」と「育ち」を培う学校になるよう開校準備委員会を設置し、さまざまな意見を取り入れながら、次代を担う子どもたちにとってよりよい教育環境整備を進めてまいります。

たのし たつの市 輝く未来へ

「みんなで創る快適実感都市」の

実現には、市民の方々がどのような活動をされているか、どのようなことを求めているか、現場で生の声を聴くことが不可欠です。本市では平成29年から「市長対話広場」に来て！見て！笑る！がらんばる地域発見プロジェクト」を実施し、市長との直接対話を通して、市民参画のまちづくり、開かれた市政の実現を目指しています。これまでに延べ90回、1000

名を超える方々と対話を重ねており、この声が必ずやまちづくりの宝になると信じています。たつの市は令和7年10月1日をもって、市制施行20周年を迎えます。「たのし たつの市 輝く未来へ」のキャッチフレーズのもと、たつの市が輝き、包摂的で持続可能なまちを目指して、刻々と変化する社会の潮流を見極めた市政運営に努めてまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 210.87km²
- ◆ 人口 7万2271人
- ◆ 世帯数 3万1485世帯

〔将来都市像〕みんなで創る 快適実感都市「たつの」

〔まちの特徴〕海・山・川が織りなす豊かな自然、歴史と文化が香る、市民が主役のまち

〔市町村合併〕平成17年10月1日、龍野市、揖保郡新宮町、揖保川町、御津町の1市3町が合併



たつの市長 山本 実



〔特産品〕龍野醤油（淡口醤油の生産量日本一）、手延素麺「揖保乃糸」（生産量日本一）、皮革（成牛革の生産枚数日本一）、揖保川トマト、牡蠣、成山新田野菜

〔観光〕龍野城、新舞子浜、聚遠亭、重要伝統的建造物群保存地区の町並み、賀茂神社、室津の町並み

〔イベント〕龍野さくら祭、龍野納涼花火大会、たつの市民まつり、室津ふるさと祭、たつの市皮革まつり、たつの市梅と潮の香マラソン大会

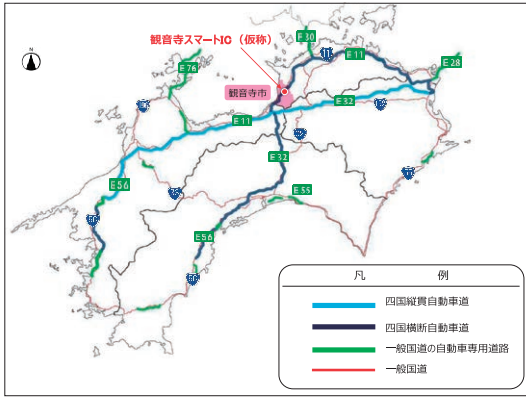
*面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「ワクワク・ドキドキ」が詰まった デジタル田園都市をめざして

観音寺市について

観音寺市は、香川県の西端部にあり、愛媛県および徳島県に隣接するとともに、四国の真ん中に位置する地理的好条件を有しています。このことから、四県全ての県庁所在地へのアクセスも1時間程度と移動が容易であり、まさに交通の要衝であるといえます。



観音寺スマートインターチェンジ（仮称）位置図

現在、令和8年春の完成をめざし四国横断自動車道に新たなスマートインターチェンジ「観音寺スマートインターチェンジ（仮称）」



銭形砂絵「寛永通宝」

の整備を進めており、供用開始の契機に本市がさらなる人流や物流の結節点として重要な地域となることが期待されています。

観光面においては、名勝琴弾公園内の有明浜に描かれた東西122m、南北90m、周囲345mの大きさをほこる銭形砂絵「寛永



高屋神社「天空の鳥居」

通宝」を見れば健康で長生きし、お金に不自由しないと伝えられています。さらに、メディア等で開運・絶景スポットとして取り上げられることが多い高屋神社「天空の鳥居」などのパワースポット巡りが、今、国内外から注目を集めています。

新たなにぎわいの創出に向けて

少子高齢化や都市圏への人口流出に歯止めがかからない現状にあって、このまま何もしなければ本市の人口は、2060年に約半数となる見込みです。このように人口が減少し、まちなにぎわいが失われるなど将来に不安を抱えるなかで、持続可能なまちを実現するためには、交流人口や関係人口を創出し、新たなにぎわいをもたらず起爆剤が必要だと考えます。

そのひとつが新「道の駅」の建設です。私は、先述の思いから市長就任後速やかに組織体制の強化から始め、令和7年2月には整備のための「基本計画」を策定することができました。

本市は、讃岐うどんのダシに欠かせない「伊吹いりこ」をはじめ、レタスやブロッコリー、梨など豊富な農水産物を生産していることから、新「道の駅」には、地産地消にこだわった食事を提供するフー



新「道の駅」整備イメージ鳥瞰図

ドコートやレストランに加え、新鮮な地元産品を取りそろえたマルシェや地元事業者によるチャレンジショップなど本市の魅力を存分に満喫できる仕掛けを施していきたいと思えます。また、子どもたちが安全に遊べる屋外大型遊具、雨天時でも親子で遊べる大屋根広場や屋内キッズスペースを設置することにより子育て支援の機能を充実させるとともに、四国の真ん中に所在する優位性を生かして、四国内のどこで災害が発生しても救助隊などの速やかな派遣ができるよう、自衛隊など緊急車両の乗り入れを可能とし、かつ防災資機材の一時保管所としても利用できる防災拠点としての機能も持たせようと考えています。

市民が気軽に立ち寄ることができ、市外からの訪問客が何度も訪れたいくなる四国地域のゲートウェイとして、にぎわいと活力の好循環を生み出す中四国最大級の道の駅をめざして、強力に整備を進めていきます。

子育て世帯に寄り添う

国においてはこども家庭庁が発足し、あらゆる方針・施策を打ち出していますが、本市においても子育て世帯に寄り添い、きめ細かな取り組みを進めています。物価高騰が高止まりするなか、子育て世帯への家計負担の軽減は喫緊の課題です。このような状況を鑑みて第3子以降の保育料の無償化や給食費の一部補助に加え、おむつなど乳児にかかる費用を軽減する制度を創設しました。具体的には、乳児が1歳を迎えるまで毎月2千円分の子育て応援券を紙媒体または電子チケットのいずれかで、年間2万4千円を交付しています。令和7年度からは交付額を倍増し、さらなる負担の軽減をめざします。

また、本市もこれまで複数の部署で行っていた相談窓口の一元化を図るべく組織体制を見直し、伴走型での支援を強化するとともに、母子健康手帳と子育て情報を発信する機能を備えた子育てアプリを導入して、保護者などの不安に寄り添う支援を行ってまいります。さらに、地域全体で教育を支え、かつシビックプライドを醸成

おわりに

本市は、新市発足後、本年度20

する取り組みとして、給食に地元食材を使用する「かんおんじデー」を実施しています。市内産の食材の調達により市内経済を応援するとともに、子どもたちに郷土料理や生産者等への親しみを醸成する試みとして評価を得ています。

周年の記念すべき年を迎えます。豊かな自然、先人より受け継いだ多様な伝統文化やここに住む人々の営みを次代に受け継いでいく決意を新たにするとともに、節目の年を全ての市民とともに祝い、かけがえない故郷の末永い繁栄を願って、ワクワク・ドキドキする施策をより一層進めてまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 117.83 km²
- ◆ 人口 5万6361人
- ◆ 世帯数 2万5823世帯

〔将来都市像〕 みんなで奏でる、にぎわいやすらぎときめぎの都市
く元印のかんおんじ

〔まちの特徴〕 銭形砂絵「寛永通宝」や豊稔池堰堤などの壮大な造形物を誇り、金運のまちとしても知られている
〔市町村合併〕 平成17年10月11日、観音寺市、大野原町、豊浜町の1市2町が合併



観音寺市長 佐伯明浩



〔特産品〕 伊吹いりこ、練り物（蒲鉾など）、レタスなど野菜、梨、清酒、麴、綿製品、オムツなど衛生用品
〔観光〕 銭形砂絵「寛永通宝」、豊稔池堰堤、天空の鳥居（高屋神社）、天空のブランコ、一の宮公園
〔イベント〕 ちようさ祭り、銭形まつり、萩まつり、日本学生トライアスロン選手権、市民ミュージカル

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。